

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル JA「農の支援講座」の実施

JA名 北群渋川（群馬県）

1 動機 (経緯)	地域の担い手不足や高齢化が進むなか、新規就農者の裾野拡大や地域農業の振興を図るため、就農希望者や農業に関心のある方々を募集し「農の支援講座」を実施しています。
2 概要	農の支援講座は、講義形式と現地実習の2部構成としています。 【第1部】 ・野菜栽培の基礎知識を中心に1～3月までの間で計5回の講義を実施します。 ・主な内容としては管内の野菜栽培と流通、農薬の特性と適正使用、園芸資材と種子情勢などです。 【第2部】 ・管内の代表的な品目であるナス、チンゲン菜、ブロッコリー、ネギ等について、播種から収穫までの栽培管理を3～11月までの間で現地実習します。 ・管内の経験豊富な生産者がJAの営農アドバイザーとして、実習は場の提供や現地指導を行っています。
3 成果 (効果)	受講生のなかには新規就農し、JAの販売事業の利用や直売所への出荷にまで至っている方がおります。JAとしては就農支援だけでなく、その後の経営ステージにあわせた事業支援や資金相談等のニーズに適宜対応します。
4 今後の 予定 (課題)	本講座を通じ実際の生産者である営農アドバイザーとつながりを持つことが、就農にあたっての大きなメリットと感じており、本講座を継続し新規就農をサポートします。

【現地実習の様子】

